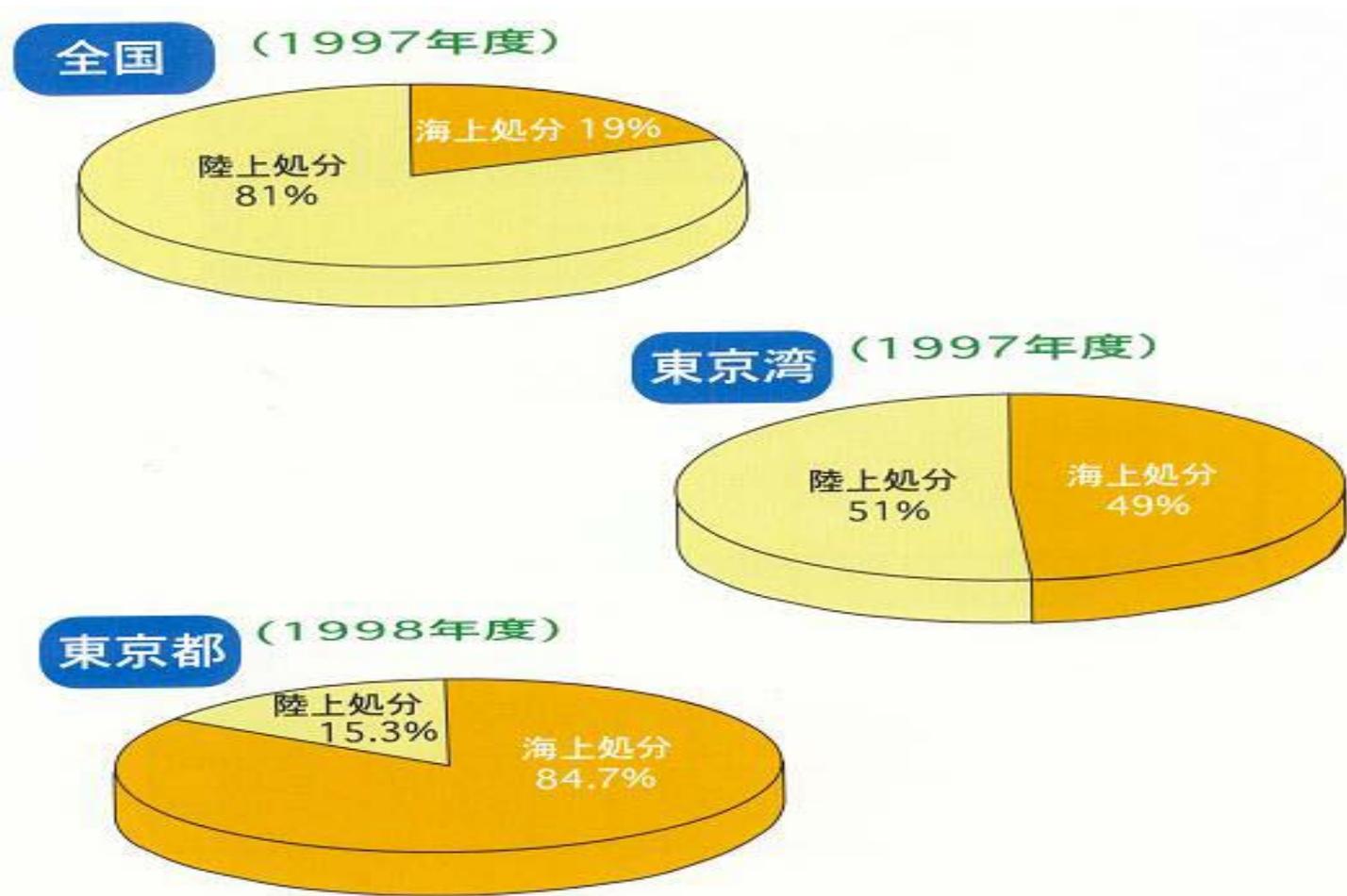


一般廃棄物の海面処分場のシェア

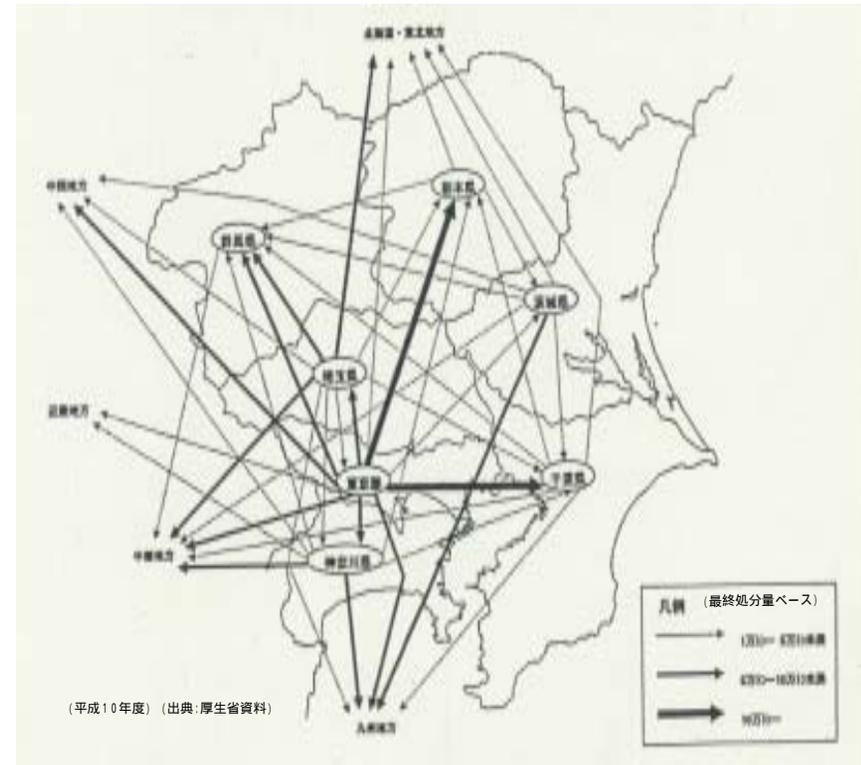
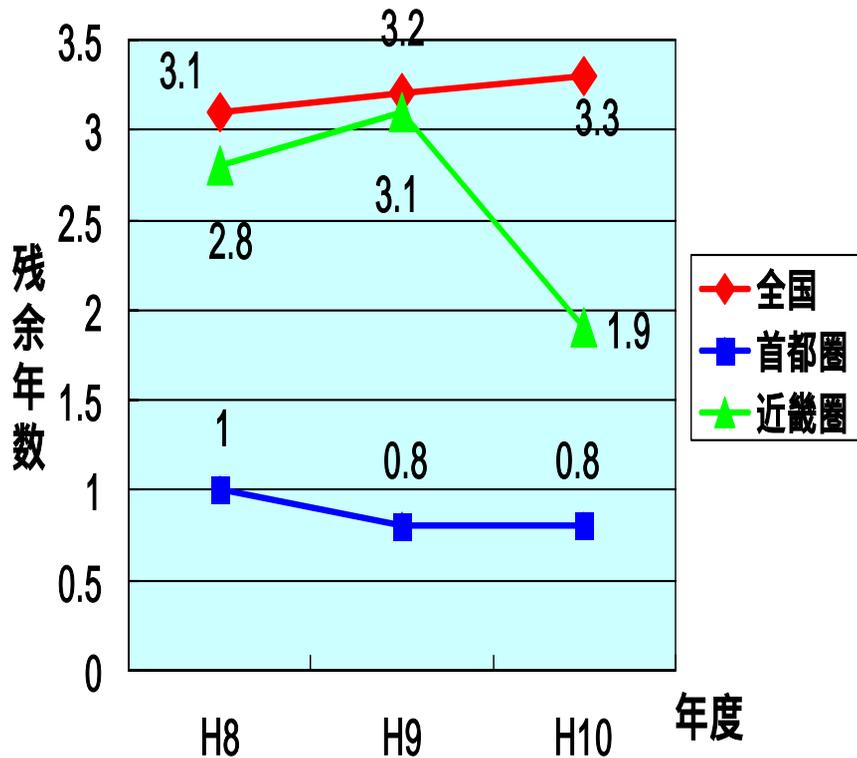


注:東京湾とは、東京都、千葉県、埼玉県及び神奈川県の一都三県を指す。

産業廃棄物の処分状況

近年、産業廃棄物最終処分場の新規立地が困難化。この結果、残余年数は全国で**3.3年**、近畿圏で**1.9年**、首都圏に至っては**0.8年**と非常に厳しい状況にある

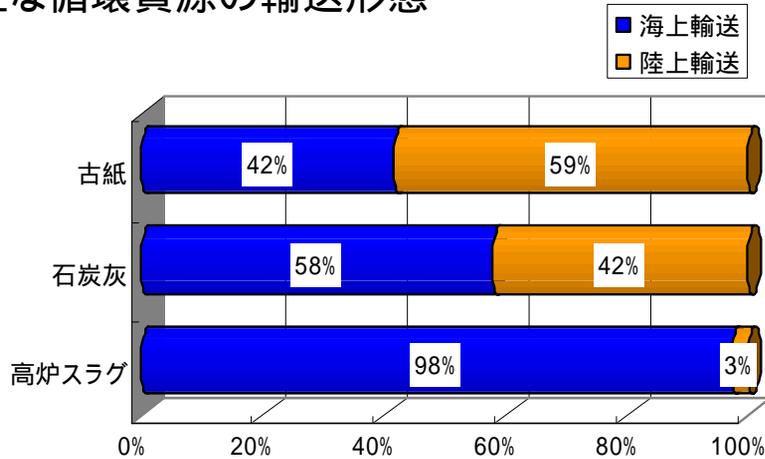
東京都で発生し最終処分される産業廃棄物のうち、75%が東京都の外で最終処分されている。



循環型社会の実現に向けて

- リサイクルの現状と将来 -

主な循環資源の輸送形態



(平成11年度運輸省調査による)

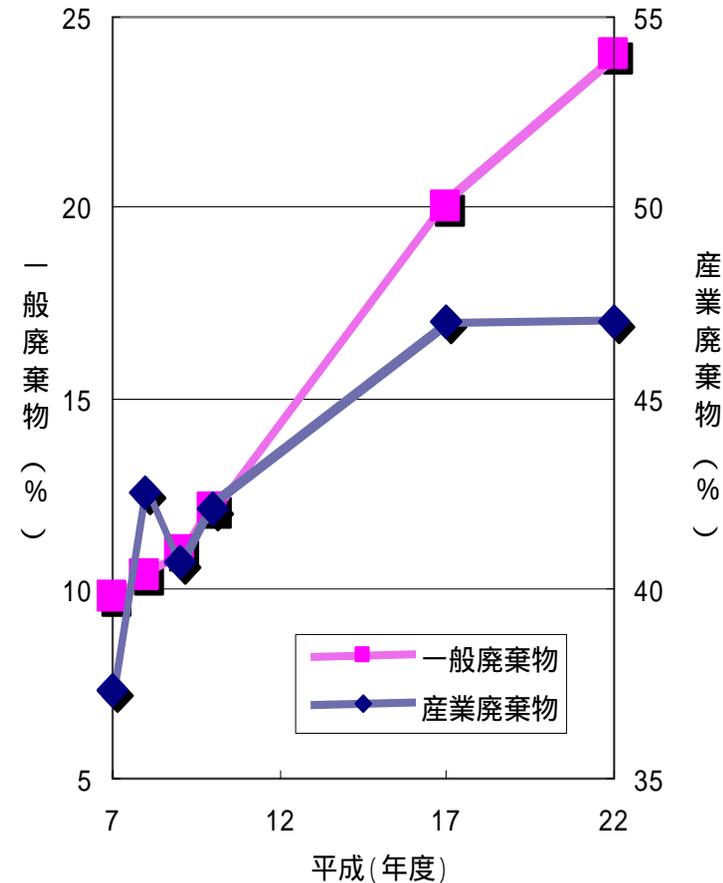
リサイクル拠点の臨海部への立地

家電リサイクル施設
(西日本家電リサイクル(株)
: 北九州港)

ペットボトルリサイクル施設
(東京ペットボトルリサイクル(株)
: 東京港)



リサイクル率の向上



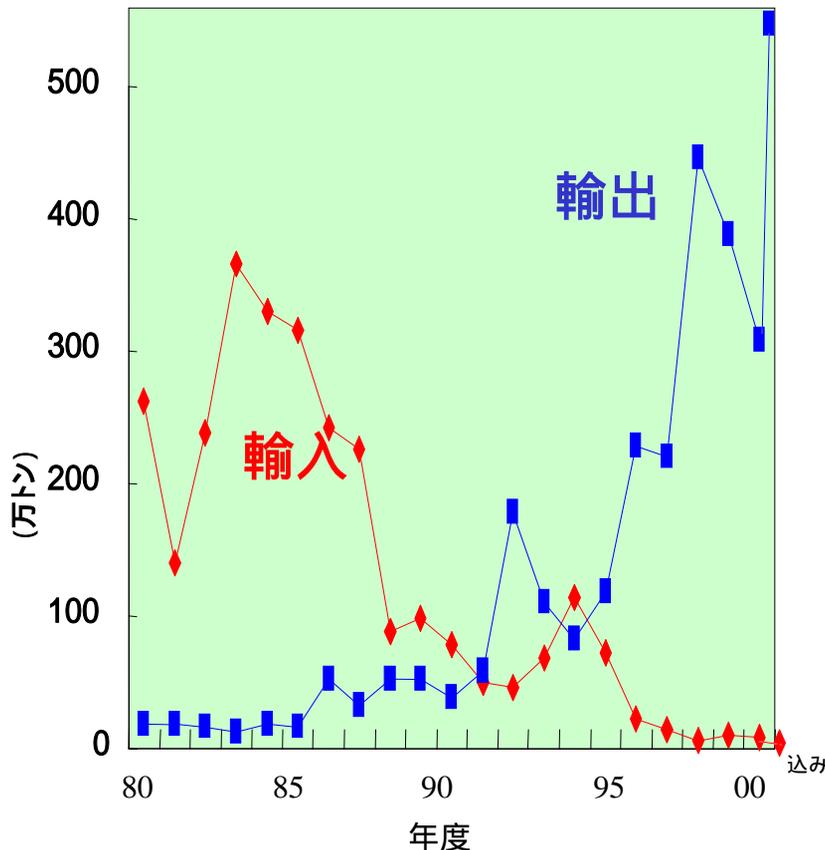
(平成7~10年度:実績、平成17・22年度:目標)

鉄スクラップの現状と課題

伸び続ける我が国の鉄スクラップ輸出量

～かつては輸入国であったのが大輸出国に転換～

鉄スクラップの輸出入動向



出典: 鉄源年報第12号

我が国の粗鋼生産

- ・高炉 7,000万トン
- ・電炉 3,000万トン

計 1億トン

要因

1. リサイクル法施行による供給圧力
 2. 電気炉の粗鋼生産量が減少
 3. 我が国の鉄鋼蓄積量(H10年で約12億トン)の増加により、輸入国から輸出国へ(主たる輸出先:韓国、中国、アセアン)
(オリンピック開催で、中国向け輸出が急拡大する可能性)
- ⇒ 供給過剰

試算によると平成14年度輸出量は600万トン、平成17年には650万トンの輸出が見込まれる

閉鎖性水域における水環境の改善への取り組み

水の連続的な流れを捉え、広域的かつ総合的な環境情報の共有化を図るとともに、関係部局と連携しつつ、所要の公共事業による水質環境の改善に取り組む(東京湾、有明海等)。

東京湾蘇生プロジェクト

赤潮や青潮の発生が多発する東京湾の環境を改善するため、自治体、国の関係部局が実施している環境モニタリング等の結果等を総合化し、汚染原因を解明するとともに、その結果等に基づき、汚泥の浚渫、覆砂や干潟の造成等による水質改善事業、浮遊ゴミの回収等総合的な水質改善対策を効率的に実施することにより、首都圏の人々が快適に憩い親しむことのできる美しい東京湾を形成する。

汚染メカニズムの解明

共通の目標に向かって総合力を發揮！

総合的な水質改善策の実施

ゴミ・油の回収と水質監視の強化



ゴミ油回収船

関東地方整備局
赤潮回収技術の開発中



湾岸自治体等と連携したモニタリング結果の総合化と情報発信

合流式下水道の改善



汚濁負荷の軽減により
東京湾を泳げる海に
合流式下水道の改善
による水環境の改善



貯留管設置により
未処理放流を防止

測量船による堆積物調査



灯浮標を利用したモニタリング



第三管
区海上
保安本
部

海域環境の改善



覆砂

汚泥の除去、
覆砂の実施、
干潟の再生等
による水質・底
質の環境改善



干潟再生